向き合って、学び合って、未来をつくる下永谷　　学校通信 9月号

しもながや

令和５年８月２８日 発行　　横浜市立下永谷小学校

残暑（猛暑）お見舞い申し上げます

校長　鈴木陽一

「校長先生、こんにちは～～」と元気にあいさつしてくれる子どもたちの顔は、真っ赤で、頭から汗が流れ落ちてきています。夏休み中、校庭で遊んでいた子たちが水道に水分補給しに来る時の様子です。一昔前でしたら、「暑い中も遊んですごいね。元気いっぱいだね。」と声をかけていたのですが、ここ数年は、「大丈夫。暑いから、よく水分採るんだよ。あまり長く遊ばず休み休みにするように。」と心配しながら声をかけるようになってしまいました。

右の写真は、本校の田んぼの写真です。すくすくと成長をし穂に実が入り始めています。教職員の水の管理のおかげで順調に成長しています。もともとイネは、湿度と気温が高いところでの栽培が向いているそうです。この暑さは、イネにとってはよい気候なのかもしれません。（周りの草もよく伸びていますが）

とはいえ、今年の夏は、「本日は熱中症アラートが出ています。熱中症に十分気を付けてください。」という言葉が、８月中はほぼ毎日流れていました。かと思うと、猛烈な台風がゆっくりと日本の周りを移動して、沖縄・九州など西日本に、大雨をもたらし、川の増水や決壊、土砂災害などの被害が多くありました。その一方で、猛暑が続く地域では、雨が少なく乾燥しているところもあります。新潟では、水不足でイネの生育が心配されているそうです。また、外国では、乾燥による山火事があり多くの方が犠牲になっているという知らせが入ってきています。災害に合われた皆さんにお見舞い申し上げるとともに一日も早い復興をお祈りしています。地球環境の変化と私たちの生活様式について教育現場でも子どもたちと考えていかなければならないとさらに痛感しています。

夏休みが開け子どもたちの元気な声が戻ってきました。感染症や熱中症などに気を付けながらも、子どもたちが安心して学習や生活ができるよう進めてまいります。どうか皆様におかれましても温かく子どもたちを見守りいただければと思います。また厳しい暑さはまだしばらく続くようです、どうかご自愛ください。